

2021年 第35週（8月30日～9月5日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) RSウイルス感染症の発生が続いています
 - 2) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 3) ダニ媒介感染症に注意しましょう
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 県全域に緊急事態宣言延長（期間 8月20日～9月30日）
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	RSウイルス感染症	2.50	2.00	4.00	+0.50
2位	感染性胃腸炎	1.00	0.50	0.00	+0.50
2位	突発性発疹	1.00	0.00	0.00	+1.00

2 発生から見る注意点

1) RSウイルス感染症の発生が続いています

県の定点あたり患者数は今週1.74人（先週2.20人）で、依然として多い状況が継続しています。管内は2.5人（先週2.0人）となっています。

RSウイルスを病原体とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ全員が感染しますが、その後も感染を繰り返します。乳幼児の肺炎及び気管支炎の重要な原因となっていて、特に心肺等に基礎疾患があると重症化しやすいといわれています。手洗いやうがいを徹底し、乳幼児が呼吸器症状を示した場合は早めに医療機関を受診することが重要です。

2) 感染性胃腸炎の発生が続いています

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間～1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎とは（兵庫県ホームページ）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html

3) ダニ媒介感染症に注意しましょう

ダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、虫除け剤を使用し、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

ダニ媒介感染症

病名	日本紅斑熱	つつが虫病	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
病原体	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス
媒介ダニ	マダニ	ツツガムシの幼虫	マダニ
潜伏期間	2～8日	5～14日	6～14日
症状	発熱・発疹・刺し口重症化することあり		発熱・消化器症状重症化することあり

また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。

マダニに咬まれたら、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置をしてもらいましょう。

ダニ媒介感染症(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第35週は5,749人（先週6,732人）の新型コロナウイルス新規感染者で、第25週（6/21～6/27）以来の減少となりましたが、依然として多い状況が続いています。新学期が始まり、学校園でのクラスターの発生による学級・学年・園の閉鎖が増加しています。特に10歳未満の感染者が増加しており、家庭内感染が多くなっています。同居の家族は基本的に「濃厚接触者」にあたり、陽性者と同様、自宅待機となります。「(兵庫県)新型コロナの陽性者・濃厚接触者の方にお問い合わせのこと」が、[県のホームページより発信](#)されています。

感染拡大を阻止するために、家庭内での定期的な換気やドアノブなど共用部分の消毒、タオルや食器などの共用を避けるなど、感染防止対策の徹底をお願いします。

1) 県全域に緊急事態宣言延長（期間 8月20日～9月30日）

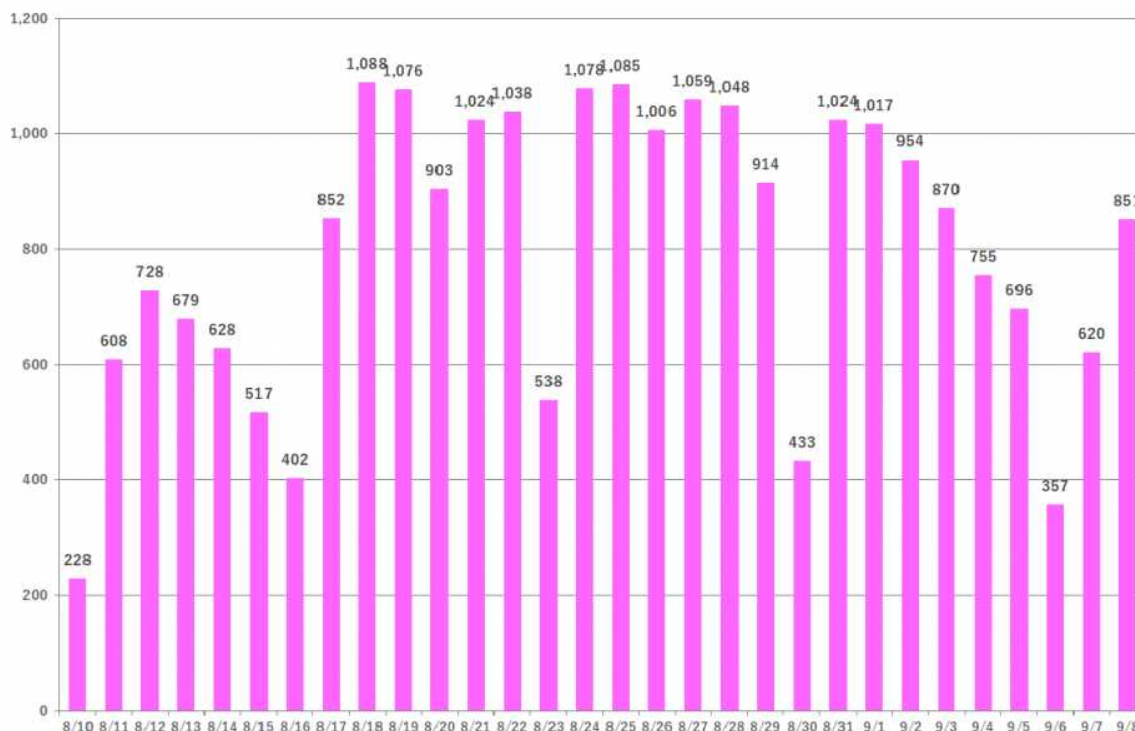
新型コロナウイルスの感染拡大は厳しい状況が続いています。

緊急事態宣言下であることを一人一人が認識し、一日も早い感染収束に向けて、絶対に感染を再拡大させないという強い思いのもと、感染対策の徹底をお願いします。

【直近1週間平均患者数】

	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9
新規陽性者数:1週間平均(人)	894.3	852.4	821.3	810.4	752.7	729.1	689.3
重症者用病床の使用率(%)	53.5	54.9	54.9	58.4	59.8	57.0	—

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（8/10～9/8）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

<皆様へのお願い>

(1) 府県域を越えた不要不急の往来はやめよう

- ・ 不要不急の外出・移動を自粛、特に混雑した場所等への外出を半減してください。
- ・ 時短要請時間外の営業や酒類・カラオケ設備を提供する飲食店等や感染対策（アクリル板の設置又は座席間隔1m以上の確保など）が徹底されていない飲食店等の利用はやめてください。
- ・ 路上・公園での飲酒・友人・グループによる宅飲みなど感染リスクの高い行動はやめてください。

(2) 飲食時でも会話の際にはマスクを着用

(3) 家庭内での感染対策

- ・ 体調異常があれば、登校、出勤を控える。
- ・ 会食の自粛やマスク着用、手洗い、消毒、換気などの感染対策を徹底し「ウイルスを家庭に持ち込まない、ウイルスを家庭内外に広げない」行動を徹底してください。
- ・ 帰宅後の手洗い、室内喚起の実施、毎日の検温、家族の健康管理を行い、発熱などの症状が出た場合はかかりつけ医に相談してください。
- ・ 部活動やサークル活動などの際には、熱中症に注意しながら、会話の際のマスクの着用など感染対策を徹底してください。

(4) ワクチンの積極的な接種

- ・ ワクチン接種は感染を予防します。副反応や接種後の死亡例等の誤った情報には惑わされず、正確な情報のもと、特に若い方の積極的な接種への参加をお願いします。

- ・ワクチン接種後も引き続き、**マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保**など基本となる対策の徹底をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

- 1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>
- 3 兵庫県新型コロナウイルス感染症について
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/singatakorona.html>
- 4 新型コロナウイルスの対応について
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

＜問合せ先・予約先＞朝来健康福祉事務所

電話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/t.jk08/asagoeizukensa.html>

メール asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実施日 9・10月実施日 9月16日(木)、10月7日(木)、10月21日(木)